

## 大阪北部地震から2年

2018年6月18日午前7時58分、大阪北部を中心に震度6弱の地震が襲った。写真上は当日の朝日新聞夕刊1面である。

あれから2年。記憶を記録するために、当日撮った写真などから振り返ってみたい。

あの日は確か月曜日だった。当時は大阪市立大の図書館に朝一番で通っており、地下鉄御堂筋線で「あびこ駅」に向っていた。ちょうど「本町駅」に着いたとき、列車がガタガタと揺れ、電車から降りて、早く地上に上がってくださいという緊張気味の案内があった。御堂筋の歩道に上がると、大勢の人が立ち止まっていた。どんな地震なのか、自宅は大丈夫なのか、iPadで調べて、携帯で連絡した。地下鉄がいつ復旧するか分からず、とにかく自宅の方に向けて歩くことにした。

淀屋橋は行きかう人、座り込む人で一杯だった。大阪市役所で情報をつかもうとした。庁内に職員はまだおらず、閑散としていた。なんだか疲れたので、休憩して梅田に向った。

地下街やJR大阪駅は閉鎖され、大勢の人が座り込んでいた。歩道橋から見ると、JRの電車がホームに止まっている。バスが動いているのがわかり、バス停に向かった。

たまたま「守口車庫」行きのバスが止まっており、たぶん淀川の方面に行くと考え乗り込んだ。これが正解だった。まだ大阪に転居して半年余りで不安だったが、地図を見るのが趣味なのが役立った。天神橋8丁目で降りて、長柄橋を渡り、なんとか自宅にたどりついた。自宅のエレベーターは停止しており、階段を上るのが辛かった。

写真下は翌19日の朝日新聞朝刊1面。新淀川大橋の歩道を歩く人たち。地下鉄やJRが止まると、こうして淀川を歩いて渡らなくては、新大阪やその先の自宅にたどり着けないのだ。

維新や大阪府・市が猛進する大阪市廃止・分割により、わが「新淀川特別区」は淀川によって分断される。特別区職員の大半は、現在の市役所「中之島庁舎」に間借りする。維新や松井市長が言うように災害対応はけっして大丈夫ではない。さてさて、これからどうなる、これからどうする？



(2020年6月18日)